

## 競技注意事項

### 1 競技規則について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則・競技会における広告および展示に関する規程、並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

### 2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止について

日本陸上競技連盟の陸上競技活動開催についてのガイダンス「【第4版】競技会開催について（2022年5月22日）」に基づいて実施する。

### 3 練習について

- (1) 大会前日および大会当日の練習については、別紙「練習会場での注意事項」および「練習会場使用日程」を確認すること。
- (2) 競技前のメイン競技場でのフィールド種目の練習は、競技開始30分前（棒高跳は60分前）から行うことができる。ただし、競技役員の指示に従うこと。

### 4 競技用靴について (TR5.2)

- (1) スパイクピンの数は11本以内とし、長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。靴底の厚さは、フィールド種目：最大20mm、800m未満のトラック種目：最大20mm、800m以上のトラック種目：最大25mmとする。
- (2) 選手はWA承認済み競技用靴リスト記載の競技用靴を着用すること。規定違反の疑義がある場合、審判長の権限のもと、競技終了後も含めいつでもチェックや回収をすることがあり、対象者は指示に従わなければならない。

### 5 招集について

- (1) 招集は両日の第1種目のみ以下に示す時刻のとおり行う。以後の種目についても、次の集合時刻までに集合すること。場所は招集、集合ともに混成競技控室前とする。ただし、U20日本選手権十種競技の円盤投については、110mHフィニッシュ後競技役員の指示に従い、直接円盤投の競技場所へ移動すること。

種目	招集および集合開始時刻	招集および集合完了時刻
トラック種目	競技開始時刻の30分前	競技開始時刻の20分前
フィールド種目	競技開始時刻の40分前 (棒高跳は70分前)	競技開始時刻の30分前 (棒高跳は60分前)

- (2) 招集、集合の際、同時にアスリートビブス、スパイク（シューズ）、バックの中身、衣類の商標の確認と点検を受けること。トラック種目のみ腰ナンバー標識（2枚）を受け取る。
- (3) 競技者が、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレーヤー・トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を所持していた場合は、招集時に預かり競技終了後TICにて返却する（TR6.3.2）。競技場内で着用するウェアや持ち込むバック等に表示されている商標は、「競技会における広告および展示物に関する規程」に示すサイズを超えてはならない。これに違反したもののについては、違反している箇所にマスキングテープ等を貼り処置する。
- (4) 招集完了時刻に遅れた場合は当該種目を欠場するものとして処理する。この場合は次の種目からの出場はできないものとする。
- (5) 次種目から欠場する場合は、混成競技審判長に申し出ること。その後欠場届をTICに提出すること（TR39.10）。

## 6 アスリートビブスについて (TR5.7~10)

- (1) アスリートビブスは3枚 (胸・背・手荷物用) 配布する。
- (2) アスリートビブスはユニフォームの胸・背に折らずに付けること。ただし、跳躍種目は胸・背いづれかに付けるだけでよい。
- (3) トラック種目では、配布した腰ナンバー標識を左右の腰に確実に付けること。

## 7 競技について

- (1) トラック種目のレーン順はプログラム記載のとおりとする。
- (2) トラック種目において、各レースでの不正スタートは1回のみとし、その後に不正スタートした競技者は失格となる (TR39.8.3)。
- (3) ハードルの高さとしてき種目の重さについては以下のとおりである。

### 【日本選手権】

ハードルの高さ	男子	110mH 1.067m
	女子	100mH 0.838m
投てき物の重さ	男子	砲丸投 7.260kg 円盤投 2.000kg やり投 800g
	女子	砲丸投 4.000kg やり投 600g

### 【U20日本選手権】

ハードルの高さ	男子	110mH 0.991m
	女子	100mH 0.838m
投てき物の重さ	男子	砲丸投 6.000kg 円盤投 1.750kg やり投 800g
	女子	砲丸投 4.000kg やり投 600g

- (4) 走幅跳・砲丸投は2つのピットで実施する。組み分けと試技順はプログラム記載のとおりとする。
- (5) 走高跳・棒高跳は2つのピットで実施する。組み分けは競技者の申請により決定し、試技順はプログラム記載の順番を原則とする。競技者は、走高跳は1日目、棒高跳は2日目の最初の招集時に、希望する最初の高さを申請すること。
- (6) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は以下のとおりとする。

### 【日本選手権】

種目	練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	以降
男子走高跳	任意の高さ	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	1m94	3cmずつ上げる
女子走高跳	任意の高さ	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	3cmずつ上げる
男子棒高跳	任意の高さ	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m10	4m20	4m30	10cmずつ上げる

### 【U20日本選手権】

種目	練習	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	以降
男子走高跳	任意の高さ	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m88	1m91	3cmずつ上げる
女子走高跳	任意の高さ	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m63	1m66	3cmずつ上げる
男子棒高跳	任意の高さ	2m20	2m40	2m60	2m80	3m00	3m20	3m40	3m50	10cmずつ上げる

- (7) 日本選手権十種競技とU20日本選手権十種競技のやり投の開始時刻は競技日程を基本とするが、棒高跳が終了した競技者でグループ編成し、時間差をつけて開始する場合がある。開始時刻は各競技者の棒高跳終了時に連絡する。
- (8) 十種競技1500mは9種目の合計得点の高い順にレーン内側から整列する。腰ナンバー標識も得点順に1からとする。七種競技800mの組み分けとレーンについては、6種目の合計得点の高いグループを最終組とし、得点の高い順に1レーンから割り当てる。
- (9) 十種競技1500mと七種競技の800mの際、アスリートビブスは付け替えずにそのまま使用し、順位シールを前後のアスリートビブスの左下に貼り付ける。
- (10) 欠場する者は欠場届 (<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/athleticclub/form/>) に必要事項を記入し大会前日までに大会事務局へ送信すること。(FAX:018-829-3732 E-mail:jaaf-akita@sky.plala.or.jp) へ送信すること。大会開催中はTICへ提出のこと。

## 8 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は棒高跳を除き、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- (2) 投てき用具については公表された「投てき用器具一覧」にないものは、持ち込みを認める。持ち込み希望者は、当該種目の競技開始90分前までにTICに申し出て検査を受けること。検査に合格した用具は一括借り上げ、参加競技者で共有できるものとし、競技終了後にTICで返却する。競技中に破損が生じても主催者は一切の責任を負わない。
- (3) フィールド種目で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したものを2個まで、サークルからの投てき種目では1個置くことができる。個人の所有物は使用できない。

## 9 結果発表と抗議について

- (1) 結果の発表はアナウンスで行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、アナウンス後30分以内（TR8.2）に、競技者自身または代理人が、TICを通じて審判長に対して口頭で行う。さらに、裁定に納得できない場合は預託金（1万円）を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出ること（TR8.7）。

## 10 表彰について

- (1) 1位～8位の競技者の表彰は上下ウェア（暑いときはTシャツでも可能）を着用のうえ、正面スタンド前で行う。競技終了後に競技役員が誘導する。なお、アスリートビブスはウェアに付け替えること。表彰時のウェアにも「競技会における広告および展示物に関する規程」が適用されるので、留意すること。
- (2) 1位の競技者にはカップ、賞状とメダル、2位、3位の競技者には賞状とメダル、4位～8位の競技者には賞状を授与する。
- (3) 各種目の1位の競技者には、各種目終了直後に各種目の競技場所付近に設置されるインタビューボード前で記念品の贈呈を行う。

## 11 控室について

- (1) 混成競技控室はメイン競技場1階に用意し、競技者以外の立ち入りはできない。
- (2) 貴重品を含め個人の荷物は各自で管理すること。万一の事故があっても主催者は責任を負わない。また、ゴミの後始末は各自で行うこと。

## 12 ドーピングコントロールについて

検査の対象となった際は競技役員の指示に従うこと。詳細は大会要項による。

## 13 その他

- (1) 招集（集合）場所から競技場への入場および競技終了後の退場は競技役員の指示に従うこと。
- (2) 競技場内での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。医務室はメイン競技場1階に設置する。
- (3) 届けられた遺失物についてはTICで保管する。保管期間は6月5日競技終了までとする。
- (4) 記録はその都度発表するが掲示はしない。大会ホームページに随時アップする。
- (5) 「記録証明書」を希望する競技者はTICに500円を添えて申し込むこと。
- (6) スタンドを含む競技場内への応援用のぼり、旗等の掲出・展示は「競技会における広告および展示物に関する規程」に従うこと。
- (7) プログラムに誤記がある場合には、第1日9時までにTICへ申し出ること。
- (8) ポールの輸送を希望する者は、各自で配送を事前手配したうえでTICに申し出ること。